　　　　　　　　　　（別添）

**旧耐震基準の木造住宅の除却における容易な耐震診断調査票**

調査日時：　　　 年 　　月　　 日　午前・午後　　時

調査者氏名： 　　　　　　　　　　　資格（　　）建築士（　　　）登録　第 　　　号

|  |  |
| --- | --- |
| （添付書類） | １　建築士事務所に所属していることを証する書類 |
|  | ２　建築士免許証の写し |

所属事務所名：

**Ⅰ）建築物の概要**

１．建築物の所有者：

２．建築物所在地：

３．階数：

**Ⅱ）　前提条件の確認（いずれも必須）** 　　　　　　　　　　チェック欄

|  |  |
| --- | --- |
| 木造住宅である |  |
| 昭和56年5月31日以前に新築の工事に着手した |  |

**Ⅲ）　一見して倒壊の危険性があると判断できる項目**

　　　（１以上ある場合は倒壊の危険性があると判断）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 建物全体 | 全体又は一部に崩壊がある |  |
| 全体又は一部に傾斜や変形がある |  |
| 地盤・基礎 | 地盤沈下が生じている |  |
| 基礎がコンクリート以外（玉石、石積み、ブロック等）である |  |
| 基礎がコンクリートであり、ひび割れや欠損が見られる |  |
| 老朽・腐朽 | 柱、梁、壁、土台等の構造部に白蟻の被害がある |  |
| 柱、梁、壁、土台等の構造部に腐朽が見られる |  |
| 柱、梁、壁、土台等の構造部に損傷や欠損が見られる |  |

**Ⅳ）　壁の割合**

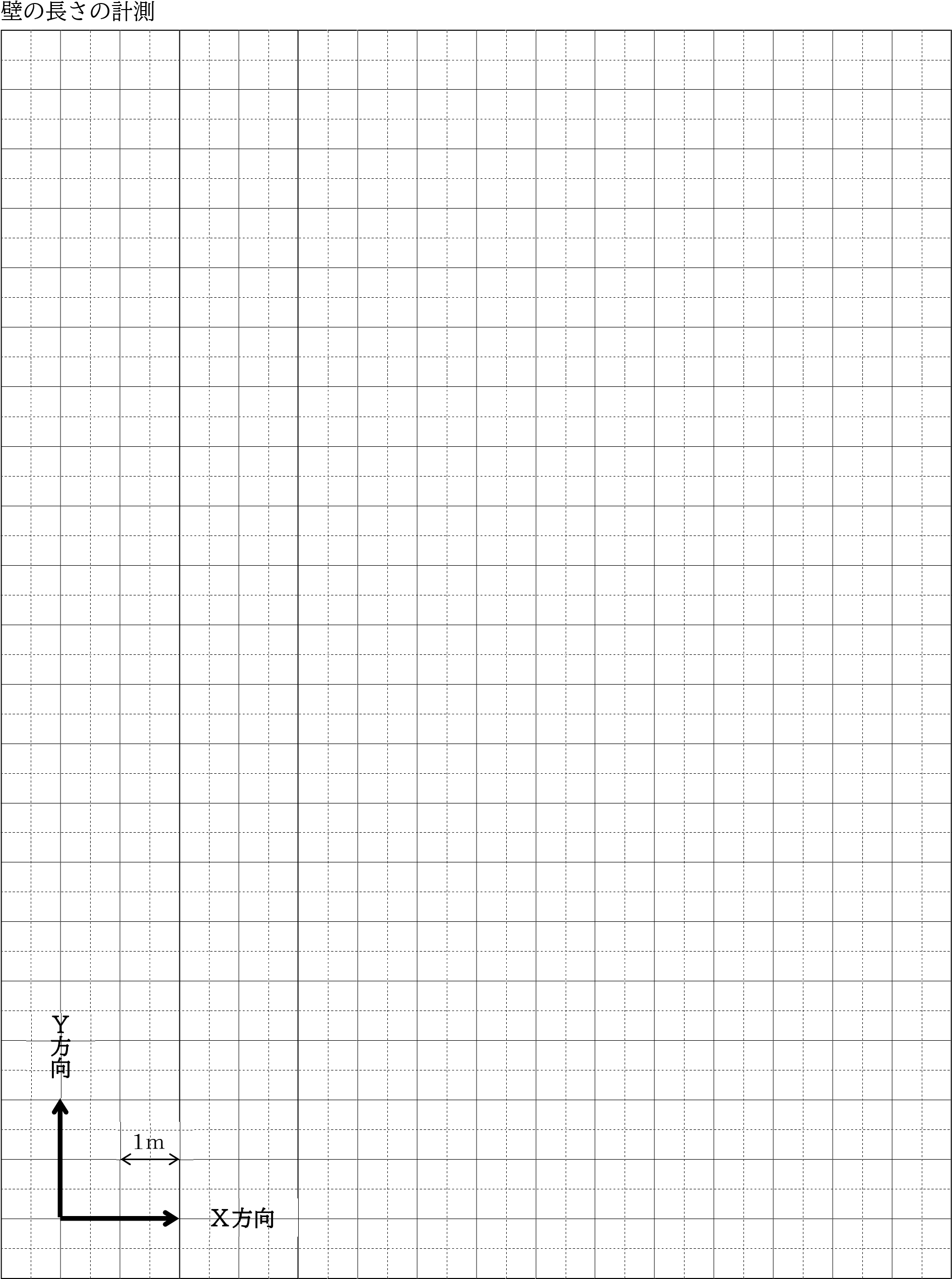
一見して倒壊の危険性があると判断できない場合でも、壁の割合が0.8未満である場合は、倒壊の危険性があると判断できるものとする。

（イ） 　　　（ロ） 　　　　　　　（ハ） 　　　　　　（二）　　　　　　 （ホ）壁の割合

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 方向 | 壁の長さ（ｍ） | 建面（㎡） | イ／ロ | 必要値 | ハ／ニ |
| Ｘ |  |  |  |  |  |
| Ｙ |  |  |  |  |  |

（別紙）

**Ⅳ）壁の割合 記入用紙**



1. 壁の長さの合計

① Ｘ（横）方向 　　　　　　　　　　　　 ② Ｙ（縦）方向

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ① | ｍ | ② |

ｍ

①②のうち小さいほうを記入してください。

|  |
| --- |
| イ |

ｍ

1. 面積

|  |
| --- |
| ロ |

㎡

1. 単位面積あたりの壁の長さ

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| イ | ÷ | ロ | ＝ | ハ |

1. 必要な壁の長さ

|  |
| --- |
| 二 |

ｍ

下の表から該当するものを選んで記入してください。

階数

屋根の種類

平

家

２階建

軽い屋根

（鉄板葺・石綿板葺・スレー

ト葺等）

０．２０

０．５２

重い屋根

（かや葺・瓦葺等）

０．２７

０．５９

1. 壁の割合

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ハ | ÷ | ニ | ＝ | ホ |